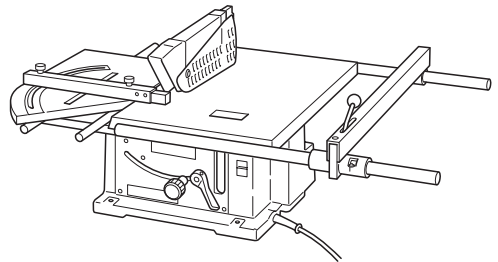


Makita

取扱説明書

マルノコ盤

モデル **2711**
(電気ブレーキ付)



本製品はシングル絶縁構造ですので必ず接地（アース）してください。マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびはマルノコ盤をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

| | |
|---------------------------|----|
| ・ 主要機能 | 3 |
| ・ 安全上のご注意 | 4 |
| ・ マルノコ盤安全上のご注意 | 10 |
| ・ 各部の名称および標準付属品 | 12 |
| ・ 別販売品のご紹介 | 13 |
| ・ 使い方 | 14 |
| ・ 運搬 | 14 |
| ・ 組み立て方法 | 15 |
| ・ ルーラーガイドの取り付け方 | 15 |
| ・ 傾斜定規の取り付け方 | 16 |
| ・ ノコ刃の取り付け・取りはずし方 | 17 |
| ・ 平行定規の取り付け方 | 19 |
| ・ ノコ刃と平行定規の平行 | 19 |
| ・ 平行定規の固定力の調整 | 20 |
| ・ 位置指示板の調整 | 21 |
| ・ 安全ガイドの取り付け方 | 22 |
| ・ 据え付け場所 | 24 |
| ・ 工具の収納場所 | 24 |
| ・ 切り込み深さの調整 | 24 |
| ・ 昇降ノブの操作力の調整 | 25 |
| ・ 傾斜角度（ノコ刃） | 25 |
| ・ 角度ストッパの調整 | 26 |
| ・ 傾斜角度（傾斜定規） | 26 |
| ・ スイッチの操作 | 27 |
| ・ 切断作業 | 28 |
| ・ （１）横切り | 29 |
| ・ 切断できる材料の寸法（スライドテーブル使用時） | 31 |
| ・ （２）縦切り | 32 |
| ・ マルノコ盤スタンドの組み立て方 | 35 |
| ・ ホルダセット品の組み付け方 | 36 |
| ・ 保守・点検について | 37 |
| ・ 清掃 | 37 |
| ・ 注油 | 37 |
| ・ カーボンブラシの交換 | 38 |
| ・ ご修理の際は | 38 |

主要機能





| 主要機能 | | モデル | |
|-------------|-----------------------------------|------------------------------------|---------|
| | | 2711 | |
| 電動機 | | 直巻整流子電動機 | |
| 電圧 | | 単相交流 100 V | |
| 電流 | | 14 A | |
| 周波数 | | 50-60 Hz | |
| 消費電力 | | 1,350 W | |
| 回転数 | | 3,800 min ⁻¹ (回転/分) | |
| 使用可能ノコ刃 | 外径 | 208 mm ~ 260 mm | |
| | 内径 | 25 mm または 25.4 mm | |
| | ノコ身厚さ | 1.8 mm 以下 | |
| | あさり幅 | 2 mm 以上 | |
| 標準付属品のノコ刃仕様 | 外径 | 255 mm | |
| | 内径 | 25 mm | |
| | ノコ身厚さ | 1.8 mm | |
| | あさり幅 | 2.8 mm | |
| 最大切り込み深さ | 標準付属品 (外径 255 mm) のチップソー使用時 | 90° | 91 mm |
| | | 45° | 63 mm |
| | 外径 260 mm のチップソー使用時 | 90° | 93.5 mm |
| | | 45° | 65 mm |
| 本製品寸法 | | 長さ 1,090 mm × 幅 715 mm × 高さ 470 mm | |
| 質量 | | 32.5 kg | |

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

- | | |
|---|--|
|  警告 | : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。 |
|  注意 | : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。 なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。 |
|  注 | : 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。 |

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - ・ 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
6. アース（接地）付きプラグやアース線がある場合、アース線をガス管に接続しないでください。
 - ・ 発火や爆発の原因になります。
7. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、モータの回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、電動工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは電動工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本機に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

電動工具の使用および手入れ

1. 電動工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠ 警告

3. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - 本機の調整
 - 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
 - 保管、または修理
 - 電動工具から離れるとき
 - その他危険が予想される作業
4. 使用しない電動工具は、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - 電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - 電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本機の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
10. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
 - 理解せずに使用することは危険です。
11. 子供や本機の操作を理解していない方には使用させないでください。
 - けがの原因になります。
12. 必要に応じ、定格感度電流が 30 mA 以下の漏電しゃ断器を使用してください。

⚠ 警告

整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - 本機を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - 本機が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - 本機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

 - 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - 電源コードに深いキズや変形がある。
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - 焦げくさい臭いがする。
 - ビリビリと電気を感じる。
 - スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)
4. 電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - 感電の恐れがあります。

⚠ 警告

5. 使用できる延長コードの太さ（導体公称断面積）と最大長さの目安

- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
- ・ 延長コードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

| コードの太さ (導体公称断面積) | 銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安 | | |
|---------------------|-----------------------|----------|-----------|
| | ～ 5 A | 5 ～ 10 A | 10 ～ 15 A |
| 2.0 mm ² | 50 m | 30 m | 20 m |

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、マルノコ盤として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. **必ず接地（アース）してください。**
 - ・ 故障や漏電の時、感電する原因になります。
 - ・ 接地は、プラグの横から出ているアースクリップをアース線に接続してください。
 - ・ 3ピンプラグ（アースピン可倒式）の場合は、電源コンセントに合わせて、接地（アース）してください。
 - ・ アース付（3ピン）電源コンセントの場合
2. **3ピンプラグを電源コンセントに差し込んでください。（アースクリップによる接地（アース）は不要）**
 - ・ 2極電源コンセントの場合
3. **アースクリップをアース線に接続してください。**
 - ・ アースクリップやアースピン、アース線に異常がないか確認してください。
 - ・ テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたら、アースクリップ、アースピンと機械本体の金属（外郭部）間の導通を確認してください。
 - ・ アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続するような電気工事は、電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事店に相談してください。
 - ・ 接地と共に感電防止用漏電しゃ断器の設置された電源に、接続されますことをお奨めします。
 - ・ 漏電しゃ断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。
※労働安全衛生規則 第333条・第334条
電気設備の技術基準 第18条・第28条・第41条
4. **アース線をガス管に接続しないでください。**
 - ・ 爆発の恐れがあります。
5. **つなぎコードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを使用してください。**
 - ・ アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。
6. **使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。**
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
7. **安全カバーは絶対に固定したり取り外したりしないでください。また、円滑に動く事を確認してください。**
 - ・ ノコ刃が露出したままですとけがの原因になります。
8. **ノコ刃は、銘板に表示してある範囲内のノコ刃を使用してください。特にこの身の厚さは、割刃の厚さより薄いノコ刃を使用してください。**
 - ・ 反ばつなどにより、けがの原因になります。
9. **使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用して使用しないでください。**
 - ・ ノコ刃に巻き込まれ、けがの原因になります。

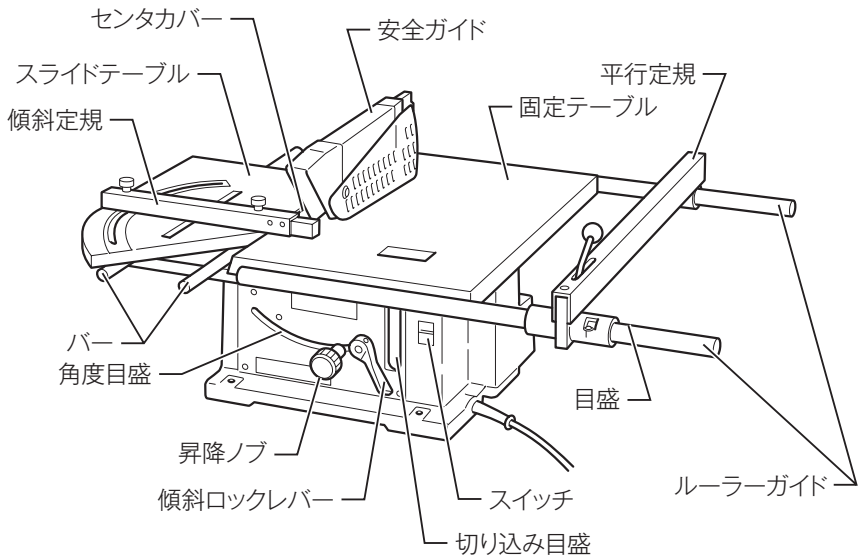
⚠ 警告

- 10.使用中は、ノコ刃や回転部に手や顔を近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
- 11.手がノコ刃に接近する場合は、必ずブッシュスティック（押し棒）など治具を使用してください。
- 12.使用中は、材料をしっかり保持し、こじれないように切断してください。
 - ・ 材料がこじられると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。
- 13.切断途中で、ノコ刃を回転させたまま材料を戻さないでください。
 - ・ ノコ刃を回転させたまま材料を戻すと強い反発力が生じ、けがの原因になります。材料を戻すときは、スイッチを切り、回転が完全に止まってから戻してください。
- 14.使用中、機体の調子が悪かったり、異常音が生じたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. ノコ刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実でないと、はずしたりし、けがの原因になります。
2. ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - ・ ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
3. テーブルの上に、工具や切断片などを放置したまま作業しないでください。
 - ・ テーブルの上のものが飛散し、けがの原因になります。
4. ノコ刃の回転中は、切断片を取り除かないでください。
 - ・ ノコ刃に巻き込まれ、けがの原因になります。
5. 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
 - ・ 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
6. 材料を押す手を、ノコ刃の延長線上に置かないでください。
 - ・ けがの原因になります。
7. 平行定規は、確実に固定してください。
 - ・ 固定が不十分な場合、材料がこじれてけがの原因になります。
8. 作業台がわりにテーブルの上に乗らないでください。
 - ・ 思わぬ事故の原因になります。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

- ・ チップソー
A-16134
- ・ 平行定規
- ・ ルーラーガイド
- ・ 六角穴付ボルト
- ・ 六角棒スパナ 5
- ・ スパナ 19
- ・ メガネレンチ 13-22
- ・ ⊕ネジ回し

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お問い合わせの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

ミゾキリカッタ…外径 120 mm ×内径 15 mm ×幅 2.4 ~ 21.0 mm
(34 ページ参照)

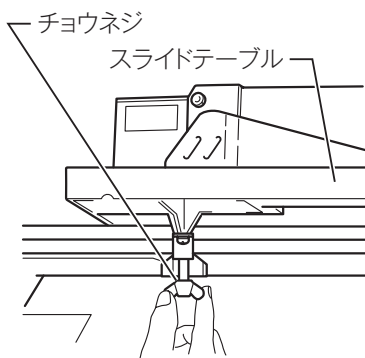
- ・ カッタ用アウトフランジおよびリング
- ・ センタカバー
下記カッタ幅のカッタご使用時に取り付けてください。
(9.0、10.5、12.0、13.5、15.0、16.5、18.0、21.0 mm)
- ・ マルノコ盤スタンド
部品番号：193920-6
- ・ 集じん用フード
(木工集じん機接続用)
部品番号：191793-1
- ・ ノコ刃

| | 寸法 (mm) | | | 部品番号 |
|----------------|---------|------|-----|---------|
| | 外径 | 内径 | 歯数 | |
| 縦横兼用刃 | 255 | 25 | 52 | A-20127 |
| チップソー 一般木工用 | 255 | 25 | 50 | A-01862 |
| | 255 | 25 | 72 | A-10338 |
| | 260 | 25 | 64 | A-07618 |
| | 260 | 25 | 72 | A-06622 |
| | 260 | 25.4 | 100 | A-17815 |
| チップソー 縦挽き用 | 255 | 25.4 | 36 | A-34338 |
| チップソー 合板専用 | 255 | 25.4 | 72 | A-16134 |
| チップソー 集成材用 | 260 | 25.4 | 100 | A-31083 |

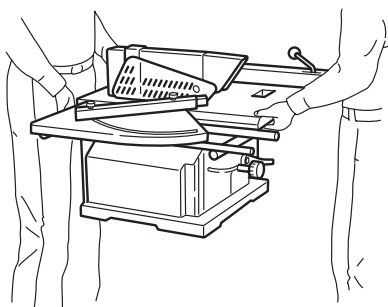
使い方

運搬

- ・ スライドテーブルをチョウネジで固定してください。



- ・ 本製品をバランスよく持って、運搬してください。
- ・ 車などで運搬する場合は、十分機械を固定してください。



注

- ・ 運搬は必ず2人で行ってください。

使い方

組み立て方法

⚠ 警告

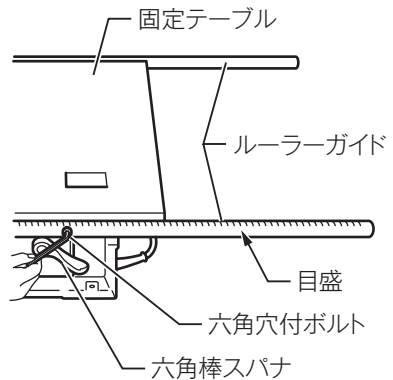
組み立ての際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントより抜いてください。

・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと事故の原因になります。

- ・ 本製品は工場出荷時には、(1) ルーラーガイド (平行定規の案内)、(2) 傾斜定規、(3) ノコ刃、(4) 平行定規、(5) 安全ガイド、(6) センタカバーが取りはずしてありますので、次の順序で組み立ててください。

ルーラーガイドの取り付け方

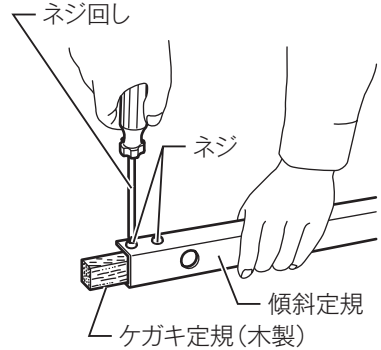
- ・ 目盛付きのルーラーガイドを固定テーブルの前側に、目盛のないルーラーガイドを固定テーブルの後側に、六角穴付ボルトで固定してください。
(六角穴付ボルト・六角棒スパナは付属品箱に入っています)。



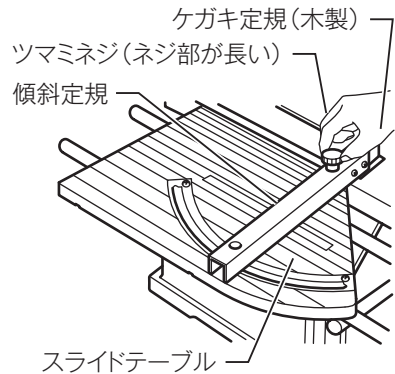
使い方

傾斜定規の取り付け方

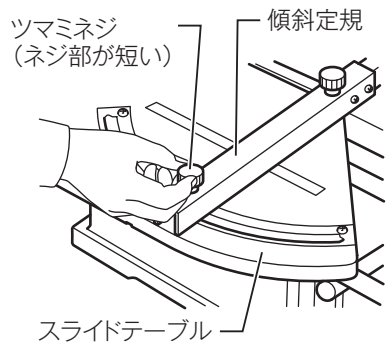
- ・ ケガキ定規（木製）を傾斜定規の中に入れ、2本のネジで軽く締め付けてください。



- ・ スライドテーブルの上に傾斜定規（ケガキ定規が固定テーブル側になるように）を載せてください。
- ・ ネジ部の長いツマミネジを傾斜定規のケガキ定規側の穴に入れ、スライドテーブルのネジ穴にねじ込んでください。



- ・ 次に、ネジ部の短いツマミネジを傾斜定規の他の穴に入れ、スライドテーブルの溝部に入っているナットにねじ込んでください。



- ・ 傾斜定規・ケガキ定規・ネジ類・ネジ回しは付属品箱に入っています。
- ・ スライドテーブルは、チョウネジで固定してありますのでネジをゆるめると移動させることができます。

使い方

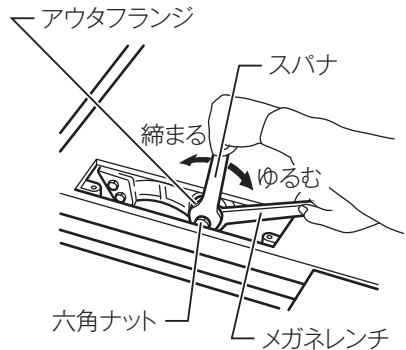
ノコ刃の取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

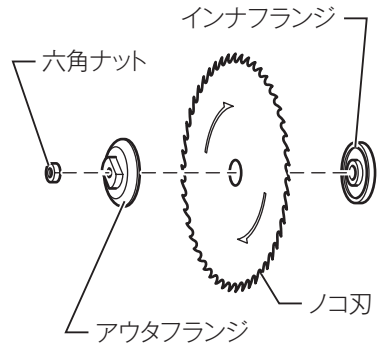
ノコ刃は、外径 208 ~ 260 mm・厚み 1.8 mm 以下・あさり幅 2.0 mm 以上のものを使用してください。

・ これにあてはまらないノコ刃を使用しますと、けがの原因になります。

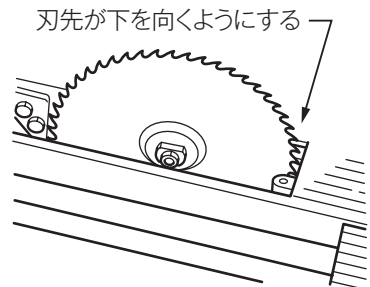
- ・ アウタフランジにメガネレンチ 13-22 をはめ、スパナ 19 で六角ナットをゆるめ、アウタフランジをはずしてください。



- ・ ノコ軸にインナフランジ→ノコ刃→アウタフランジ→六角ナットの順に組み付けてください。

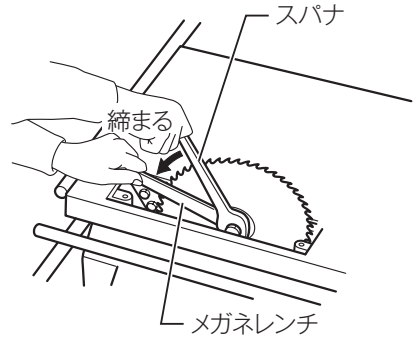


- ・ この時、ノコ刃はテーブルの手前で刃先が下を向くように取り付けてください。

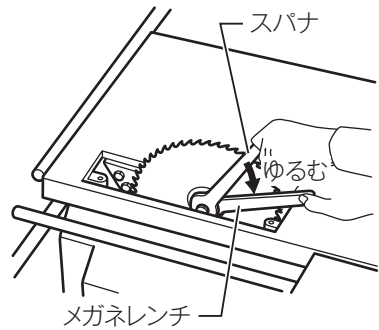


使い方

- ・ 締め付けは、アウトフランジにメガネレンチ 13-22 をはめ、メガネレンチの柄をテーブルにあて、スパナ 19 で六角ナットを左に回して締め付けてください。



- ・ 取りはずす場合は、取り付け方の逆の要領で行ってください。

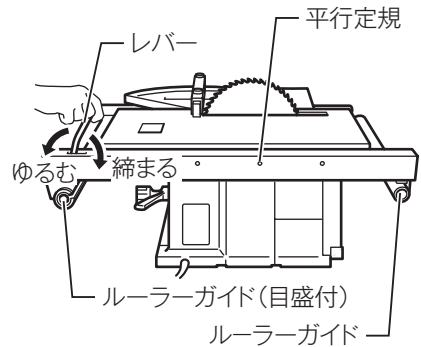


- ・ インナフランジには、ノコ刃内径 25 用と 25.4 用 (25.4 の刻印あり) の 2 面があります。ご使用になるノコ刃の内径に合った面を使ってください。

使い方

平行定規の取り付け方

- 平行定規は、レバーを手前に引いた状態でルーラーガイドに取り付けてください。レバーを手前に引くとゆるみ、前方へ倒すと固定できます。



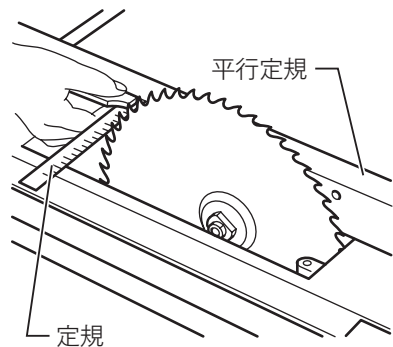
ノコ刃と平行定規の平行

⚠ 注意

平行定規は必ずノコ刃と平行に調整してください。

- 平行でないとノコ刃をこじて、けがの原因になります。

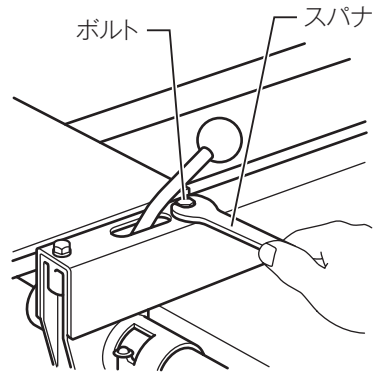
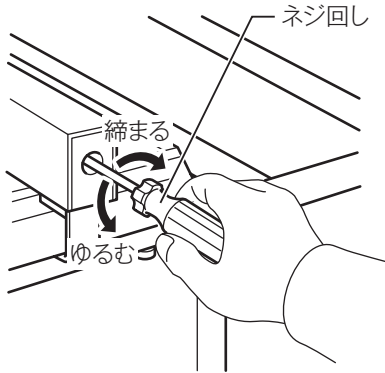
- 平行定規をノコ刃から 2 ~ 3 mm の位置で固定し、お手持ちの定規でノコ刃からの距離をノコ刃の前後 2 か所で測ってください。



使い方

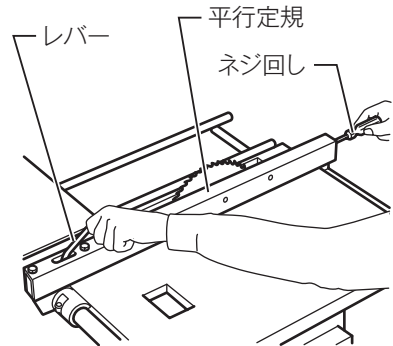
平行になっていない場合は、以下の手順で調整してください。

- ①平行定規後部の穴にネジ回しを入れ、左に2～3回転させ、平行定規後部のネジをゆるめてください。
- ②平行定規の2本のボルト（M6）をお手持ちのスパナでゆるめてください。
- ③平行定規をノコ刃と平行にして、2本のボルトで固定してください。
- ④平行定規後部の穴にネジ回しを入れ、左に2～3回転させ、平行定規後部のネジを締め付けてください。



平行定規の固定力の調整

- ・レバーを倒して平行定規を固定したときに、平行定規後部の固定が不十分な場合は、レバーを倒したまま、平行定規後部の穴にネジ回しを入れ、右に回して固定力を増してください。



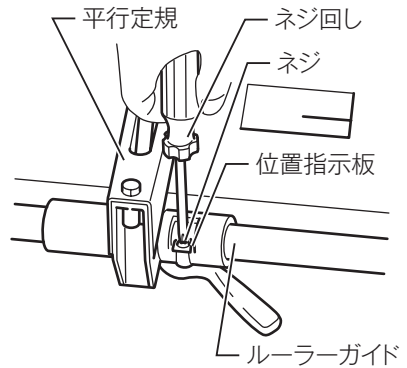
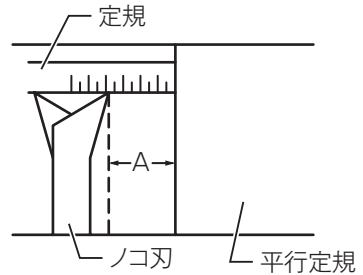
注

- ・ネジを右に回しすぎると、レバーが戻り平行定規前部の固定力が弱くなりますので、レバーを持ちながらネジを回し、レバーが戻らない位置に調整してください。

使い方

位置指示板の調整

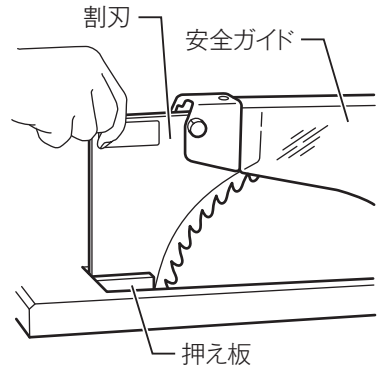
- ・ 平行定規をノコ刃から離して固定してください。
- ・ お手持ちの定規でノコ刃の刃先と平行定規の距離を測ってください。
- ・ 位置指示板がノコ刃と平行定規の距離 A を示しているか、ルーラーガイドの目盛を確認してください。
- ・ ずれている場合は、ネジをゆるめて位置指示板を合わせ、ネジを締め付けてください。



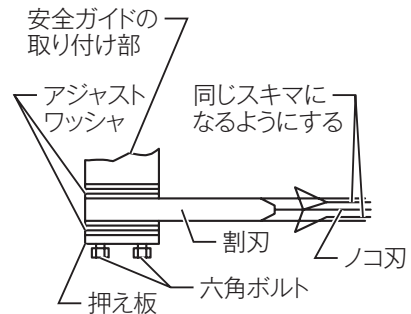
使い方

安全ガイドの取り付け方

- 安全ガイドの割刃をテーブル後部(ノコ刃後部)の安全ガイド取り付け部と押え板の間に入れてください。



- 次に安全ガイド取り付け部に付いている六角ボルトをメガネレンチで軽く締め付け、ノコ刃と安全ガイドの割刃が、一直線になっているか確認してください。ずれている場合は、割刃の左右のアジャストワッシャの数をかえて割刃を入れなおし、ノコ刃と割刃が一直線になるように調整してください。



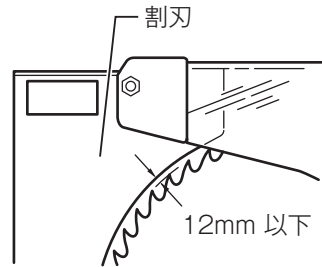
注

- 安全ガイドの取り付け・調整は、昇降ノブを右に回し、安全ガイドの取り付け部を最上部(最大切り込み深さ)にしてから、行ってください。(24ページの切り込み深さの調整参照。工場出荷時には、最上部に調整してあります)。
- 割刃はノコ刃と一直線上になるように、正しく調整してください。

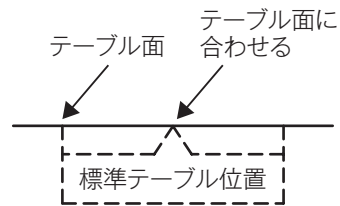
使い方

注

- ・ 割刃とノコ刃の刃先の間隔が 12 mm 以下になるように調整してください。



- ・ 付属のノコ刃（外径 255 mm）の場合は、割刃に貼り付けの「標準テーブル位置」とテーブル面が同じになるようにしてください。



このとき割刃とノコ刃の刃先の間隔は 4 ~ 5 mm になります。

- ・ 調整が終わりましたら、六角ボルトで安全ガイドをしっかりと固定してください。
- ・ センタカバーを取り付け、安全ガイドがスムーズに作動することを確認してください。（センタカバー、ネジ類は付属品箱に入っています）。

注

- ・ センタカバーは、所定の位置にはめ込み、確実にネジで固定してください。

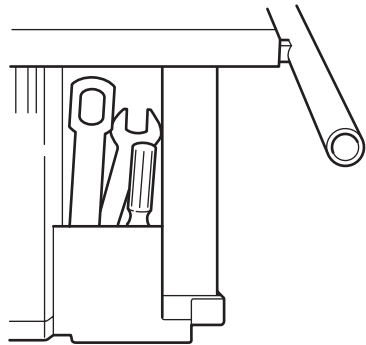
使い方

据え付け場所

- ・ 明るくて傾斜のない平坦な場所に、すべったり、ずれたりしないよう、作業台や別販売品のマルノコ盤スタンドに固定した状態で使用してください。
- ・ 作業台には、切屑排出用の穴を設けてください。

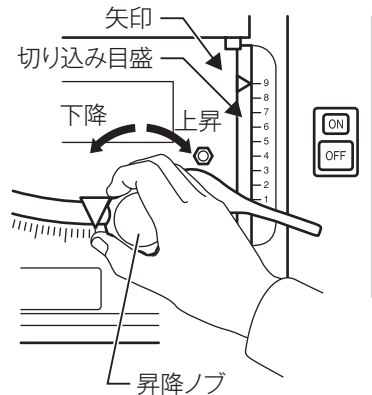
工具の収納場所

- ・ 付属工具などは、ベースのポケットに収納してください。



切り込み深さの調整

- ・ 切り込み深さの調整は、昇降ノブを回して行ってください。昇降ノブを右に回すとノコ刃が上昇し、左に回すと下降します。切り込み目盛の矢印の位置が最大切り込み深さとなります。



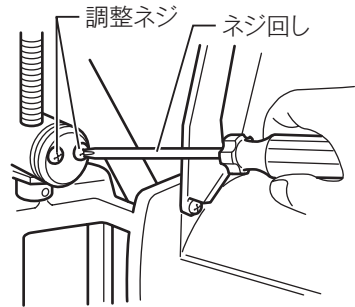
注

- ・ 矢印は、外径 255 mm のノコ刃の切り込み深さを示しています。

使い方

昇降ノブの操作力の調整

- 昇降ノブが重くて回らない場合は、本体内部の2本の調整ネジをネジ回しで左に回してゆるめてください。逆に軽くて振動で回る場合は、調整ネジを右に回して締め付けてください。



傾斜角度（ノコ刃）

⚠ 注意

傾斜ロックレバーは、調整が終わりましたら必ずしっかり締め付けてください。

- 締め付けが不十分のままお使いになると作業中にノコ刃の傾斜が変化し、材料が反発することがあり、けがの原因になります。
- 傾斜ロックレバーを右に回してゆるめ、お望みの角度（0～45°）に合わせてください。傾斜角度は角度目盛の矢印が示します。角度の調整が終わりましたら、傾斜ロックレバーを左に回して締め付けてください。



使い方

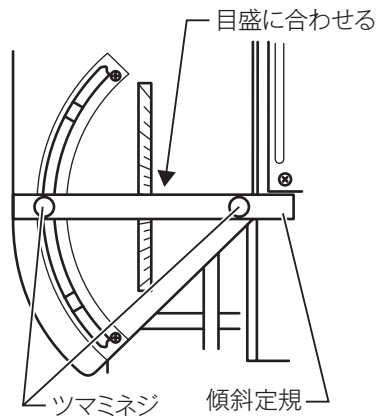
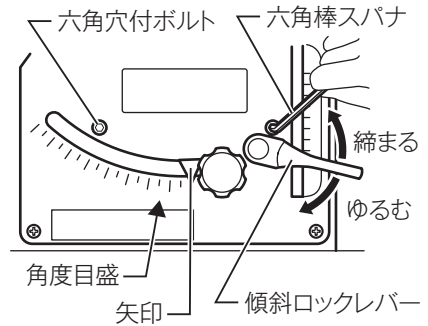
角度ストップの調整

- ・ 傾斜ロックレバーをゆるめ、ストップにあたる位置で傾斜ロックレバーを固定してください。

角度……………定規でノコ刃の直角（または 45°）を確かめてください。

※角度が出ていない場合は、以下の手順で調整してください。

- ①傾斜ロックレバーの上にあるストップ
取り付け用六角穴付ボルトを六角棒スパナでゆるめてください。
- ②傾斜ロックレバーをゆるめ、ノコ刃を
直角（45°）の位置にして傾斜ロック
レバーを固定してください。
- ③ストップをずらして位置を決め、六角
穴付ボルトをしっかり締め付けてくだ
さい。
- ④矢印が 0°（45°）を示すように、矢
印の取り付けネジ（2本）をゆるめて調
整し、締め付けてください。



傾斜角度（傾斜定規）

- ・ 傾斜定規を固定しているつまみネジ（2本）をゆるめ、お望みの角度（0～45°）に合わせ、しっかり締め付けてください。溝側のつまみネジは穴に付属のネジ回しを入れて回すと、より楽に締め付けたり、ゆるめたりできます。

使い方

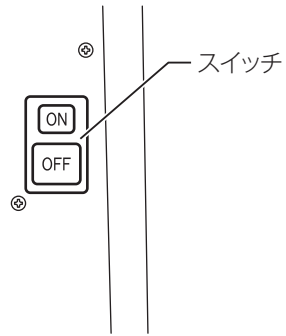
スイッチの操作

⚠ 警告

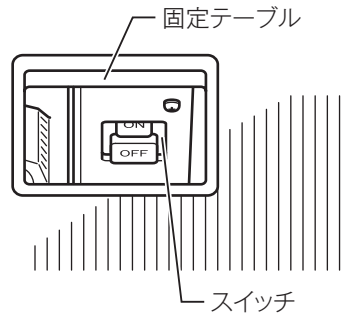
電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動き出し事故の原因になります。

- ・ スイッチは「ON」のボタンを押すと入り、「OFF」のボタンを押すと切れます。



- ・ なお、固定テーブルには、スイッチが上から見えるように窓があけてあります。



使い方

切断作業

⚠ 警告

手がノコ刃に接近する場合は、必ず押し棒など治具を使用してください。使用中は、材料をしっかり保持し、こじれないように切断してください。

- ・ 材料がこじられると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。

切断途中で、ノコ刃を回転させたまま材料を戻さないでください。

- ・ ノコ刃を回転させたまま材料を戻すと強い反発力が生じ、けがの原因になります。
- ・ 材料を戻すときは、スイッチを切り、回転が完全に止まってから戻してください。

⚠ 注意

ノコ刃の回転中は、切断片を取り除かないでください。

- ・ ノコ刃に巻き込まれ、けがの原因になります。

材料を押す手を、ノコ刃の延長線上に置かないでください。特にノコ刃を傾斜する場合は注意してください。

- ・ けがの原因になります。

平行定規は、確実に固定してください。

- ・ 固定が不十分な場合、材料がこじれてけがの原因になります。

切断中は材料をこじたり、浮かしたりしないでください。

- ・ 材料が反発することがあり、けがの原因になります。

小さな材料、幅の狭い材料を加工するときや、溝切り作業でカッタが材料の下に隠れる場合は、必ず押し具などを使って作業してください。

- ・ 刃物に手などが触れけがの原因になります。

- ・ 切断する場合はテーブルの上に材料をのせ、ノコ刃が材料に触れない状態でスイッチを入れます。材料を両手でしっかり保持し、ノコ刃の回転が完全に上昇し安定したら、そのまま静かに送材し、切り終わるまでこの状態を保ちます。特に硬い材料を切断する場合は、出来るだけゆっくり送材してください。切断面をきれいにするには、一定の速さで真直ぐ材料を進めてください。

注

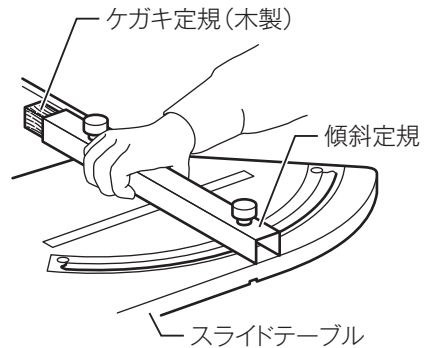
- ・ 材料の急激な送りは避けてください。モータに無理がかかり故障の原因となります。
- ・ 安全ガイドは、直角および傾斜切断時に、円滑に作動しノコ刃を覆うことを確認してから作業してください。
- ・ スライドテーブルを移動させるときに、スライドテーブルの裏側に手を持っていくと、バーとの間で指をはさむ可能性がありますので、スライドテーブルの裏側に手を持っていかないでください。
- ・ 薄い材料の場合、ノコ刃の切り込み深さを材料の高さより少し大きな切り込み深さになるように調整すると、切り口がきれいに仕上がります。

使い方

(1) 横切り

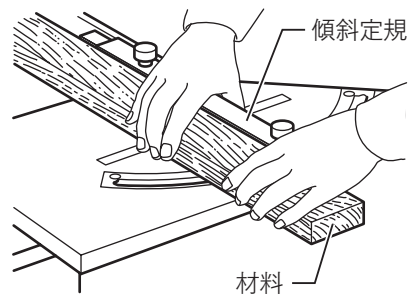
注

- ・ 横切りをする場合は、平行定規を取りはずしてください。
 - ・ 長い材料を横切りする場合は、テーブルの横にお手持ちのテーブルと同じ高さの補助台を設けてください。
- ①スライドテーブルの固定ネジがゆるんでいることを確認してください。
- ②ケガキ定規（木製）の切断
- ・ ノコ刃を直角にして、スライドテーブルを手前に引き、ケガキ定規が安全ガイドに触れない位置で傾斜定規を 0° に合わせ、ツマミネジでしっかり締め付けてください。
- 次にスイッチを入れ、スライドテーブルをゆっくり動かしてケガキ定規の端部を切断してください。



注

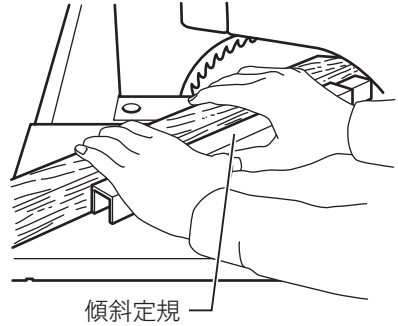
- ・ ケガキ定規の切断部がノコ刃の切断位置を示しますので、材料のケガキ線を合わせて作業してください。
- ③横切り
- ・ 傾斜定規に材料をあて、傾斜定規と材料を両手でしっかり押さえ、ゆっくり前に押し込んで切断してください。



使い方

④傾斜切り

- ・ 傾斜定規をお望みの角度にして、ツマミネジをしっかりと締め付けて、横切りと同じ要領で切断してください。この場合、ケガキ定規は使用出来ません。



注

- ・ 傾斜定規を傾斜させた場合は、切断能力（幅・高さ）が 0° （直角）のときより小さくなります。切断前に確認してください。

使い方

切断できる材料の寸法（スライドテーブル使用時）

- ・ ノコ刃（ノコ径 255 mm）を最大切り込み深さにしたときに、切断できる材料の寸法

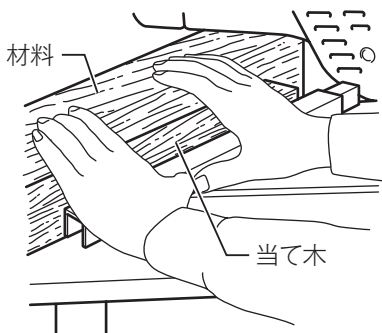
| 傾斜定規 角度 | ノコ刃の 傾斜角度 | 傾斜定規とノコ刃の 関係イラスト | 材料 | |
|------------|--------------|---------------------|----------------|--------|
| | | | 厚さ (mm) | 幅 (mm) |
| 0° | 0° | | 12 | 300 |
| | | | 91 (最大切断厚さ) | 220 |
| | 45° | | 12 | 270 |
| | | | 63 (最大切断厚さ) | 210 |
| 45° | 0° | | 12 | 260 |
| | | | 55 (最大切断厚さ) | 220 |
| | 45° | | 18 (最大切断厚さ) | 270 |
| | 0° | | 12 | 130 |
| | | | 91 (最大切断厚さ) | 70 |
| 45° | | 12 | 80 | |

注

- ・ ノコ刃と傾斜定規の関係を示すため、安全ガイドをはずしたイラストになっています。

使い方

- ・ 材料と傾斜定規の間に当て木ができる場合は、切断高さを高くすることができます。

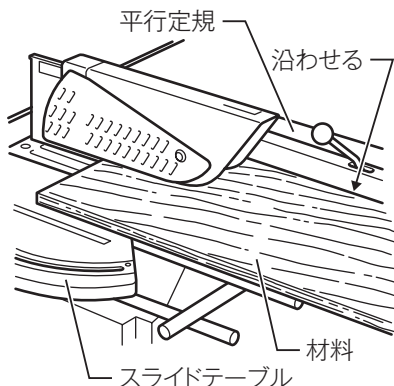


(2) 縦切り

注

- ・ 縦切りをする場合は、スライドテーブルの傾斜定規を取りはずしてください。
 - ・ 長い材料を縦切りする場合は、テーブルの後方にお手持ちのテーブルと同じ高さの補助台を設けてください。
- ①スライドテーブルをチョウネジで固定してください。

- ・ スライドテーブルの固定位置は、通常固定テーブルの後端の少し手前に、スライドテーブルの後端を合わせた位置にしますが、材料の大きさにより加工しやすい位置にしてください。



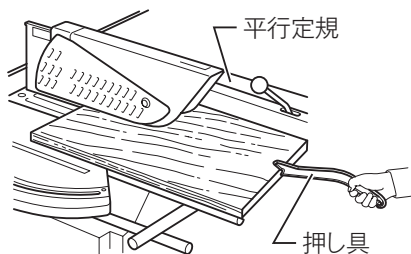
- ②平行定規をルーラーガイドに沿わせて入れ、お望みの切断幅にしてレバーを十分倒して固定してください。

注

- ・ 平行定規の後部が固定されているか確認してください。

使い方

- ③材料が安全ガイドに触れない位置でスイッチを入れてください。
- ④材料を平行定規に沿わせ、ゆっくり前へ押し切断してください。手がノコ刃に接近する場合は、必ず押し具を使用してください。



使い方

ミゾキリカッタ…外径 120 mm ×内径 15 mm ×幅 2.4 ~ 21.0 mm
カッタ用アウトフランジおよびリング、六角ナット

- ・ ミゾキリカッタをご使用の際、お求めください。

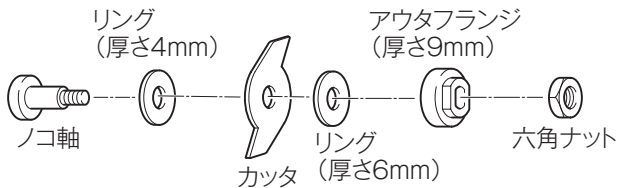
注

- ・ 安全ガイドを本製品からはずして行います。刃物に手を触れないよう押し具を使用し、注意して作業してください。

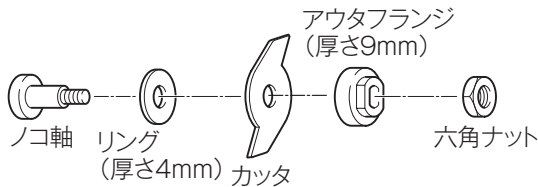
17 ページのノコ刃の取り付け方と逆の要領でノコ刃を取りはずします。

取り付けの際に、ノコ刃取り付け時のインナフランジをリング (厚さ 4 mm) に取り替えます。次にミゾキリカッタ、リング (厚さ 6 mm)、アウトフランジ、六角ナットの順に取り付けます。ただしカッタ幅 9 mm 以上の時はリング (厚さ 6 mm) は取り付けません。

- ・ カッタ幅 2.4、3.0、3.9、4.5、5.5、6.0、7.5 mm の時

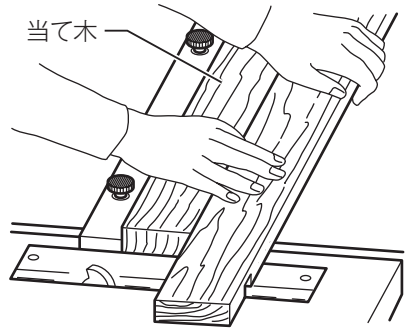


- ・ カッタ幅 9.0、10.5、12.0、13.5、15.0、16.5、18.0、21.0 mm の時



使い方

- 傾斜定規を使用してミゾキリ作業をする場合は、材料がカッタを完全に通りすぎるように、材料の傾斜定規との間に当て木をしてください。傾斜定規を 0° に合わせたとき、当て木の幅は約70mmにしてください。



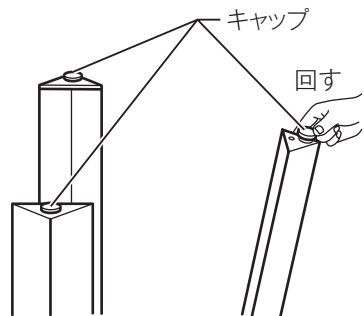
- 作業後は、安全ガイドを必ずもとの位置に取り付けてください。

注

- 六角ナットはしっかり締め付けてください。
- カッタ幅7.5mm以下は本製品取り付けのセンタカバーを、カッタ幅9mm以上は別販売品のセンタカバーを使用してください。
- 切り込み目盛は使用できません。深さはテーブル面から直接測ってください。
- カッタを傾斜して作業するとテーブルにあたりますので絶対しないでください。
- 木材以外の加工には使用しないでください。

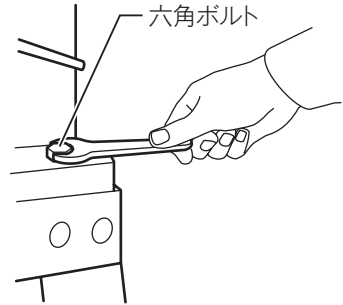
マルノコ盤スタンドの組み立て方

- 組み立て方はステーを下に並べてレッグを逆さに立て、角根ボルトとナットで確実に締め付けた後、レッグ裏にゴムのキャップをはめてください。



使い方

- 次に組み立てたスタンドの上に本製品を載せ、4本の六角ボルト、平座金、六角ナットで固定してください。

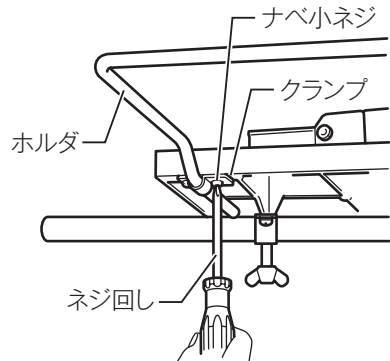


注

- マルノコ盤スタンドは専用スタンドですので、本製品以外のものを取り付けたり、載せたりしないでください。

ホルダセット品の組み付け方

- 組み付け方は、スライドテーブルの裏からクランプとナベ小ネジで締め付けて固定します。



注

- 機械を移動させるときは、ホルダを持って運ばないでください。

保守・点検について

⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

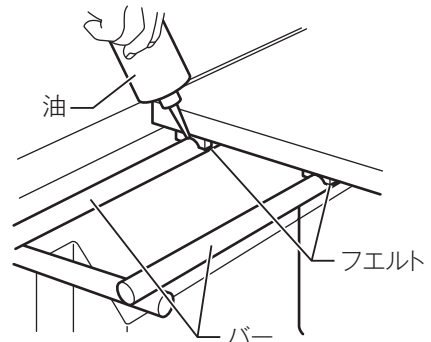
- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

清掃

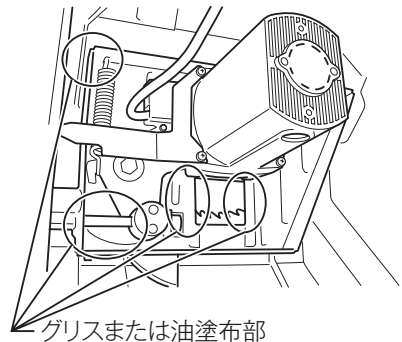
- ・ 時々、切り屑の除去など清掃してください。

注油

- ・ 本製品を最良の状態で作業していただくため、または本製品を長持ちさせるため、時々、摺動部や回転部にグリスを塗布してください。
- ・ スライドテーブル部のフェルト } マシン油 (#120 程度)
- ・ スライドテーブル摺動部のバー }



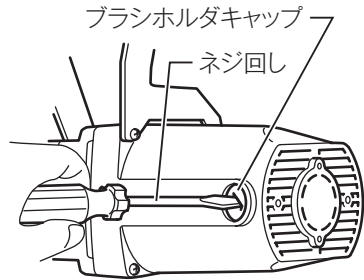
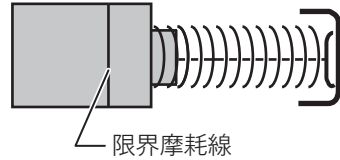
- ・ 本体内部の作動部……………グリスまたはマシン油 (#120 程度)



保守・点検について

カーボンブラシの交換

- ・ カーボンブラシは定期的に取りはずして点検してください。
カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。
新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。
- ・ ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
- ・ 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。
カーボンブラシは2個で1組になっております。取り替えるときは、必ず両側とも同時に行ってください。



ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

88140011
IWT

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)